

# はじめての在宅医療

No.6

— 10の素朴な疑問に在宅医がお答えします —

Question

教えてください!



いざ臨終のときに、本当に先生は来てくれますか?  
時間がかかったとき、どうなりますか?

Answer

お答えしましょう!



病院では医療者が看取りますが、在宅では家族が看取ります。主治医が臨終の場に間に合わなくても、病気の経過があり、その病気で亡くなったことが明らかであれば、死亡診断書を発行できます。呼吸が停止してから医師が到着するまで少し時間が経過しても、法律的な問題はありませぬ。

日本中の在宅医は、休日や夜間でも融通を利かせながら看取りを行っています。

主治医が学会出張などでどうしても都合が悪い場合は、かならず同じような在宅医療に携わっている同僚に代理を頼んでいます。無責任と思われる方もいるかもしれませんが、病院の先生も非番の時は当直医や代理の医師に任せていますので、同じことです。

「死亡したとき」は死亡確認時刻ではなく死亡時刻を記入します。

(呼吸の止まった、だいたいの時間です)

携帯電話などで主治医といつでも連絡が付き、的確な指示がでること、医師と患者の信頼関係が在宅医療の基礎になります。

参考資料:在宅医療を考える会編集(勇美記念財団支援事業)